

2025(令和7)年度 第2回初任者SD研修 「ケースから学ぶ大学職員の『業務の進め方』」

受講者アンケート結果

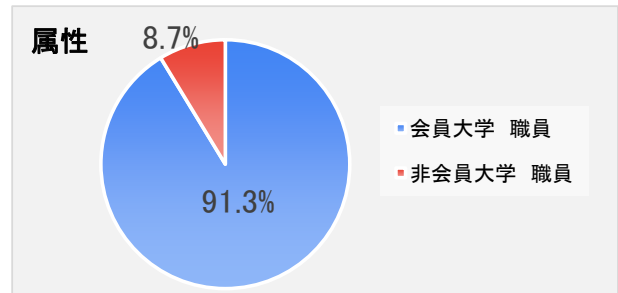
回答者数名23名/受講者数24名 回収率95.8%

1.回答者について

(1)属性

単位:名

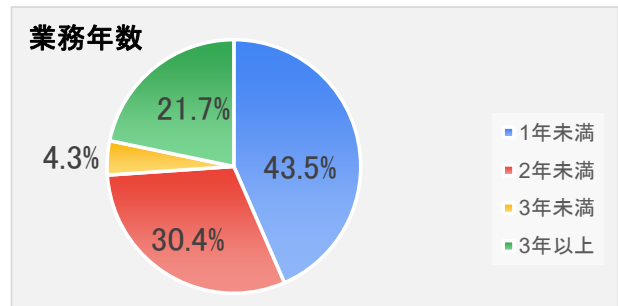
会員大学 職員	21
非会員大学 職員	2
	23



(2)業務年数

単位:名

1年未満	10
2年未満	7
3年未満	1
3年以上	5
	23



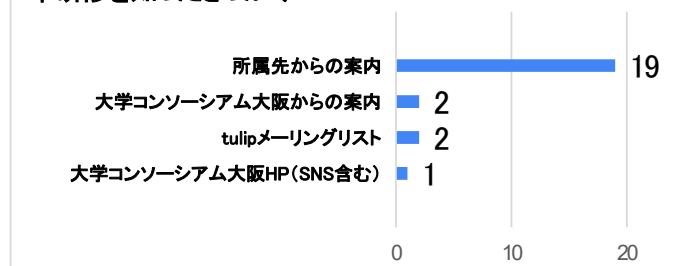
(3)本研修を知ったきっかけ(複数回答可)

単位:件

所属先からの案内	19
大学コンソーシアム大阪からの案内	2
tulipメールマガジン	2
大学コンソーシアム大阪HP(SNS含む)	1

本研修を知ったきっかけ

単位:件



(4)受講理由

・大学職員としての業務の進め方について学びたかったため。(他5件)
・他大学の職員との交流のため。(他4件)
・大学職員として必要な基礎知識・能力を取得するため。(他3件)
・第1回目の研修に参加した際に継続したいと思ったため。(他2件)
・所属先から案内や勧めがあったため。(他2件)
・研修内容に興味があったため。(他1件)
・ケーススタディを通じ、学生対応や同僚へのコミュニケーション力を養える機会であると考えたため。(他1件)
・大学職員として円滑な学生対応や他部署の対応事例などを知りたかったため。
・入職2年目の自身に適した研修と思ったため。
・入職5年目となったことで研修を受講できる機会が最後だったため。

2.研修内容について

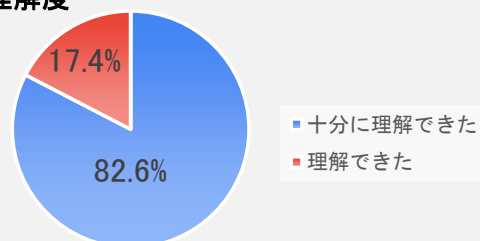
(1)内容の理解度

単位:名

十分に理解できた	19
理解できた	4
ある程度理解できた	0
あまり理解できなかった	0

23

内容の理解度

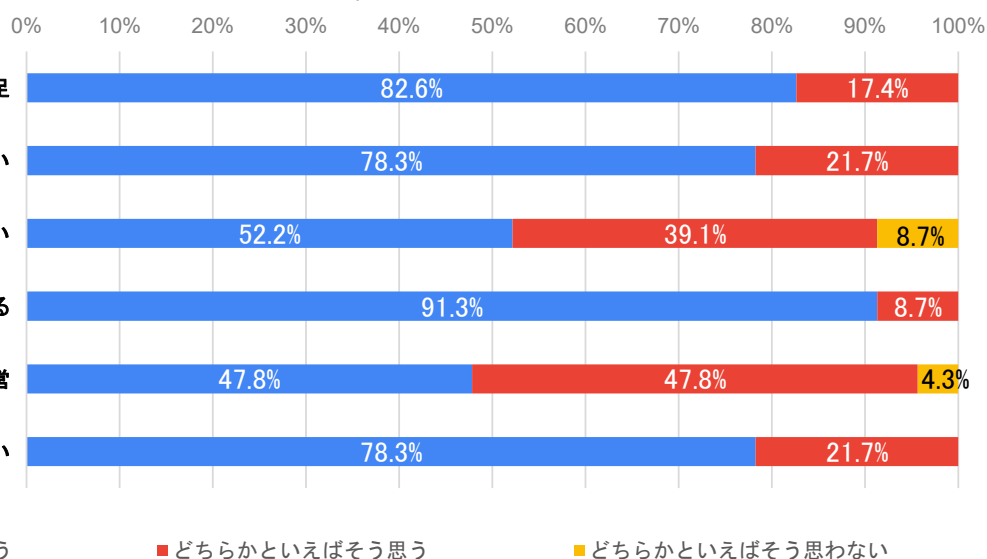


(2)研修内容について

単位:名

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
内容について満足している	19	4	0	0
講師の説明は分かりやすかった	18	5	0	0
提示・配布された資料は分かりやすかった	12	9	2	0
研修で学んだことは、自身の業務に活かせる	21	2	0	0
講師は適切な時間管理のもと、効果的な研修運営を行った	11	11	1	0
同様の研修が開催されれば誰かに勧めたい	18	5	0	0

研修内容について



(3)受講してよかったと思う点

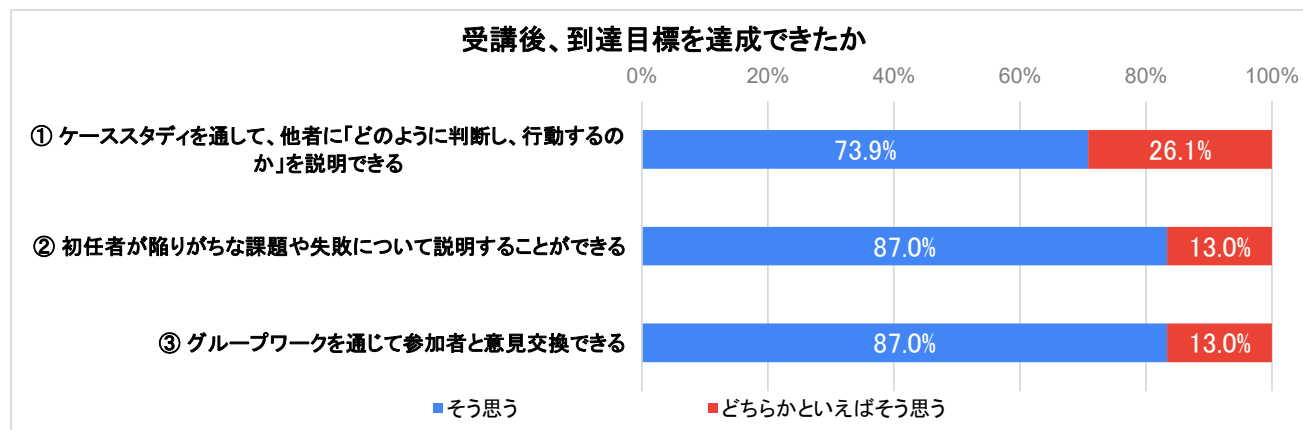
・ケーススタディを通じて、具体的な問題点や解決策、改善点を学ぶことができたこと。(他6件)
・他大学職員と交流を深め、意見交換ができたこと。(他5件)
・普段の業務で得ることができない、想定外のことに對しての気づきを学べた点がよかった。
・「学生のロールモデルになる」という言葉が印象的だった。日頃から気を付けて対応したいと改めて思った。
・通常業務に活かせる知識を学ぶことができた。
・自身が気をつけるべき部分を再認識できた。
・会議の進行役に当たった際、自身の役割としてやるべきことがわかった。
・コミュニケーションの取り方について、論理的に説明があり活用しやすいと感じた。

3.到達目標達成度と受講後の効果

(1)受講後、到達目標を達成できたか

単位:名

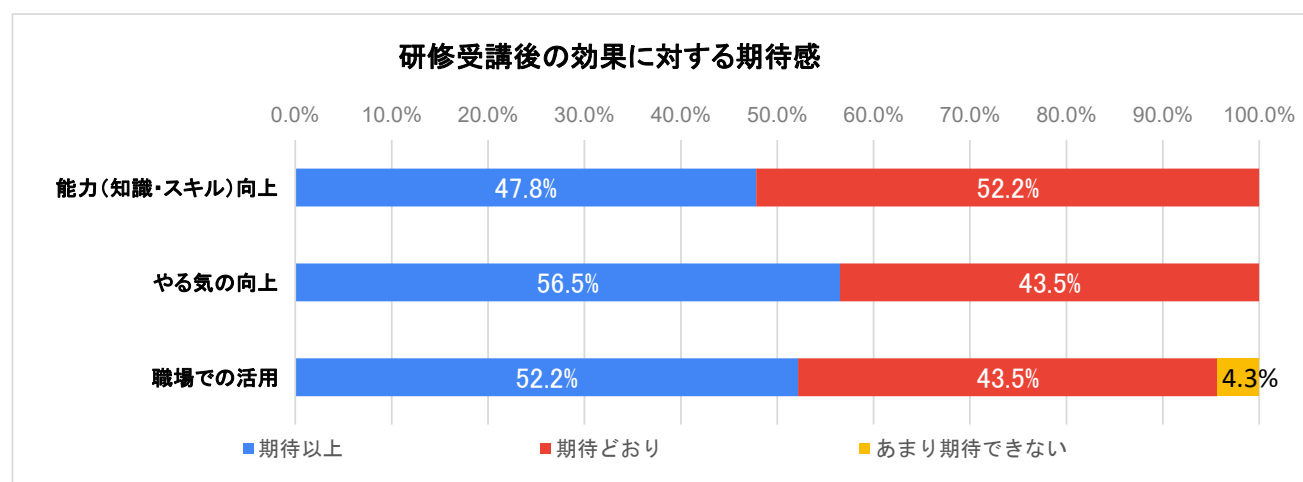
	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
① ケーススタディを通して、他者に「どのように判断し、行動するのか」を説明できる	17	6	0	0
② 初任者が陥りがちな課題や失敗について説明することができる	20	3	0	0
③ グループワークを通じて参加者と意見交換を図ることができる	20	3	0	0



(2)研修受講後の効果に対する期待感

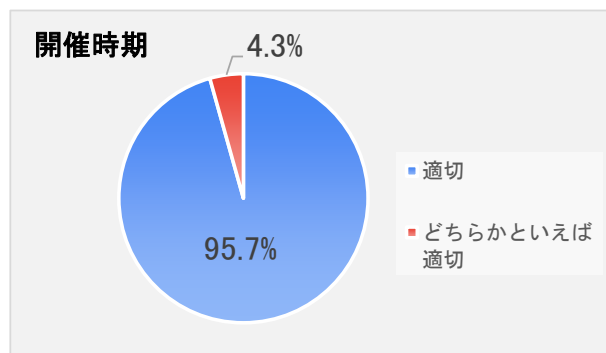
単位:名

	期待以上	期待どおり	あまり期待できない	期待できない
能力(知識・スキル)向上	11	12	0	0
やる気の向上	13	10	0	0
職場での活用	12	10	1	0



4.開催時期

単位：名	
適切	22
どちらかといえば適切	1
23	



5.その他

(1)本研修をよりよいものとするための提案

・各グループに推進委員が加わりサポートすることで、より研修内容が深まると思う。
・非常に勉強になる内容だったため、復習や学内で共有するために、解説に関する資料の配付があればよかった。
・関係者席が近く、若干の圧迫感を感じたため、レイアウトについて再考していただきたい。
・演技は席が近く見えにくいので、演台でしてほしい。
・ケーススタディの事例説明をもう少し詳しくしてほしい。(グループ内で認識の違いがあったため)
・ケースの示し方はとても分かりやすかったが(演技の時間に圧迫され)グループワークがやや駆け足になったのが残念だった。なお、全体発表があるとわかっていれば、グループ内でまとめる時間がより充実したものになったと思う。また、資料投影のみで説明がない部分が多く、書き写すだけという感じになってしまった。
・全体共有での意見交換の時間が少し短く感じた。
・研修後の懇親会等。

(2)上記以外の感想や意見

・得た知識を周知し身につけていきたい。
・研修での内容を働く中で意識しつつ、自分自身に落とし込んでいきたい。
・学生対応のある部署に所属しているため、ケーススタディは今後の業務に活かそうと思った。それ以外のケースも今後同じような場面に遭遇する場合もあるかと思うので、大変勉強になった。
・研修の場が和やかな雰囲気、職歴や歳の近い方が多かったため、グループワークも和やかに活発に取り組めた。
・他大学の方と交流する機会がないため、このような機会があり嬉しく思う。
・研修に参加することで、改めて大学職員としての意識の向上につながった。
・配付資料と投影資料が異なっていたため、投影分もいただきたい。

(3)今後、大学コンソーシアム大阪で実施してほしい研修

・AI活用
・Z世代と呼ばれる学生への考え方や対応などについて
・20代や30代の”若手職員”が陥りやすいケースの対策法など、初任者に加え若手職員を対象とした研修
・決められたテーマについて、それぞれの大学での事例の共有や、事例から学ぶ研修